

平成 29 年 5 月 19 日

受益者の皆さまへ

三井住友アセットマネジメント株式会社

## 三井住友・米国ハイ・イールド債券・ブラジルリアルファンドの基準価額下落について

(5月19日の基準価額の変動要因についてのお知らせ)

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成 29 年 5 月 19 日、以下のファンドの基準価額が前営業日比 5%以上の下落となりましたので、要因等についてご報告致します(組入投信の運用委託先である PIMCO 社からのコメントになります)。

### 1.基準価額が前営業日比 5%以上下落したファンドの名称とその状況

ファンド名	基準価額(円) (平成29年5月19日)	前営業日比(円) (平成29年5月18日比)	変動率
三井住友・米国ハイ・イールド債券・ブラジルリアルファンド	3,501	-251	-6.69%
三井住友・米国ハイ・イールド債券・ブラジルリアルファンド(年1回決算型)	12,526	-814	-6.10%

### 2.基準価額の変動要因等について

5月18日の為替市場では、ブラジルのテメル大統領について、クーニャ元下院議長の汚職に対する捜査への妨害に関与していた疑いが報じられ、政治不安からブラジルリアル安の展開となりました。テメル大統領は、弾劾により失職したルセフ前大統領から昨年8月に政権を引継ぎ、2018年末の任期満了まで政権を維持すると期待されていましたが、テメル大統領もまた辞任あるいは弾劾に追い込まれるとの懸念が広がり、リアルは対円でも大幅に下落しました。ブラジルリアルが下落したことが、上記ファンドの基準価額の主な下落要因となりました。

### 3.今後の見通し

短期的には、議会で審議されている年金改革などの法案が通過する可能性が弱まったことで、これまで期待されていた財政構造改革の進展が遅れる可能性があります。ブラジルリアルは当面、政治情勢に伴う不透明感から神経質な展開となることが予想されます。

一方、ルセフ前大統領を巡る政治の混乱や財政懸念などによりブラジルリアルが急落した 2014～2015 年当時と比べ、経常収支や外貨準備高など、同国のファンダメンタルズ(経済の基礎的諸条件)が改善し

■この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。一般社団法人投資信託協会規則に基づき制定した弊社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。  
 ■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■投資信託は、値動きのある証券(外国証券には為替変動リスクがあります。)に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。■投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等ができないことがありますのでご注意ください。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に市場環境にかかるデータ・分析、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは当資料作成時点のものであり、将来の市場環境・運用成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、または分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更されることがあります。

ている点はブラジルレアルにとってプラスの材料とみられます。また、インフレ率の低下から利下げサイクルに入っており、経済成長率の底打ちが見られることや、外貨準備が潤沢にあることから、ブラジル中央銀行には金融政策や為替介入等による通貨防衛の余地があることも、ブラジルレアルの下支え要因になると予想されます。

米国ハイイールド債市場については、3%程度の成長が見込まれる米国経済をはじめ主要国経済の回復継続が予想されることや、良好なマクロ環境が企業業績への追い風になると思われることなどから、概ね安定的な推移を予測します。加えて、足元ではバランスシートの健全化を受けてデフォルト(債務不履行)率が低位で推移しています。ここ数年、米国ハイイールド債市場のボラティリティ(価格変動性)はエネルギーセクター中心に高めとなっていました。ファンダメンタルズが脆弱な企業は既にデフォルトもしくは格下げで淘汰が進んでおり、ハイイールド債の中で比較的高位の部分(BB 格～B 格)については特にファンダメンタルズが健全な状況にあります。

注意点としては、金融緩和の効果が低減する中で、米国での政治リスクなど、リスク性資産のボラティリティを高める要因も引き続き存在する点が挙げられます。しかし、こうした環境下では、ハイイールド債の持つ高利回りという特性によりトータルリターンを安定化させることが期待できるため、ボラティリティを伴う景気回復局面の中では引き続き魅力的な投資対象としてハイイールド債券が注目されると考えています。

以上

---

■この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。一般社団法人投資信託協会規則に基づき制定した弊社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■投資信託は、値動きのある証券(外国証券には為替変動リスクがあります。)に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。■投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等ができないことがありますのでご注意ください。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に市場環境にかかるデータ・分析、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは当資料作成時点のものであり、将来の市場環境・運用成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、または分配金が支払われない場合もあり、将来に関し述べられた運用方針も変更されることがあります。